

イトヨ便り

【発行】大槌町地域支援員配置事業
〒028-1115 岩手県上閉伊郡大槌町上町 1-6
TEL : 0193-41-2780
E-Mail : otsch.info@gmail.com



大阪の皆さん、とってもフレンドリーでした!!

当日は、
天気は安
定しない
肌寒い日
でしたが、
22名の住民さんがイベン
トに参加しました。たこ
焼きを一口食べ「うんめ
え!最高だ」「本場のたこ
焼きはやっぱり違う」と
と、笑顔がこぼれました。

小槌第 2, 17

わらびうちなで 大阪を味わう「タコパ」

いできてないんですけど、こち
らの方にいろんな事を教えて
もらって、逆に元気になってみ
んな帰って来ます」と言ってく
れました。
このイベントに、住民さんか

たこ焼きを焼く体験と、大
槌にいながら大阪の雰囲気
を味わえるイベントでし
た。食べるだけでなく焼
くのも面白いですよ。生地
を流し込んで具材を入れ



どれ食べてもおいしい! お皿はすぐに空になっちゃう

4月10日に、小槌第
2・17の蕨打直仮設団地
で「タコパ」のイベント
が行われました。タコパ
とは、たこ焼きパーティ
ーの略称で、生活協同組

合おさかパルコープさんが
主催しました。
おおさかパルコープさん
は、震災直後の5月から大槌
町にはいり、たくさんの方の支
援物資や活動を続けてくれてい
ます。

たこ焼きの他にも、焼きそば
とお好み焼きも準備してあ
り、皆さんどれも完食です。
おおさかパルコープの林さ
んは「大阪から来させてもら
って、小さなことしかお手伝

ら「ごまごはん」「ポケット
ティッシュケース」「さつま
いものサラダ」「がんづき」
がすべて手作りを持ち寄ら
れました。地元の味をこち
そうし合う光景は、とても

あたたかく
嬉しい気持
ちになりま
した。
大阪の言
葉、食べ物、
て、くしでクルクル。うまく丸
くできるかが腕のみせどころ
です。
ぜひ、皆さんのご家庭でも
「タコパ」をやってみてくださ
い!

Q 作り始めたきつかけは何
だったのですか?
きつかけはねえ、「刺し子を
やってみたらどうですか」と紹
介してくれた人がいたんです
よ。あの頃は、毎日何もしない
で、ただ呆然としていたから、
んじややってみますかと。最初
は、身内もたくさん亡くなって

るから鎮魂の思いで一針一針縫っ
たんですよ。未熟ですから良いも
のはできないけど、デザインも自
分で考えてね。最初は「鮭」をテ
ーマにして。あと季節に合わせて、
桜とか椿とかさあ。
Q 今までに、どれくらい作った
のですか?
ずいぶん作りましたよ。去年の

6月からだから、もう少しで1年。
たくさんの方にあげましたから廠
密には分からないけど、100枚
以上は作ったんじゃないですかね
え。
みんなに差し上げて喜ばれるう
ちに、おもしろみも出てきてね。
ここに来てくれたボランティアさ

ん達に、何にも出来なくて、「こゆう
のでよかったですらどうぞ」と言う
と、本
当に喜んでくれるんですよ。「90歳
の方がこゆうのやってくるのを、う
ちのおばあさんに見せます」ってね。
ボランティアさんの、この町に対す
る一生懸命さが伝わってくる涙がで
てくるんですよ。ばあさんに「人の顔

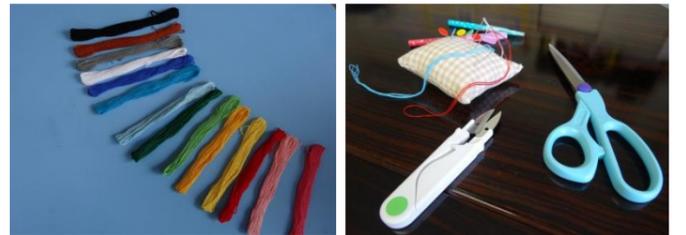
90歳で「刺し子」を知り、毎日てぬぐい作りに励む小國兼太
郎さん(91)。24色の糸を使い縫った作品は、1年前に初めて
針を持った人とは思えない出来栄です。
今回、そんな兼太郎さんにインタビューさせていただきました。

「ひとつの生きがいです 91歳の生きがいですよ」

あの
人
に
イン
タ
ビ
ュ
ー

刺し子の他に、毎日、読書や散歩も
かかすことがないという元気な

小國 兼太郎 さん (91)



見ればすぐ泣く」って怒られんですけど
ね。(笑)
Q 「刺し子」に出会えてよかったで
すね!
もし、刺し子に出会ってなかったら…
これぐらい元気になってなかったと思
いますよ。いくら歳がいてもこゆうの
やればれば生きがい。91歳の生きがい
ですよ。
今は、鯉のぼりやアサガオの練習をし
てます。喋るより、こゆうのやってる
ほうがいいですから。(笑)
兼太郎さんが作った川柳です。大槌町の
川柳コンクールで表彰されました!

生きがいを 九寿の坂に みつけたら

かねざき なな ちゃん(左)
ひらの さくら ちゃん(右)



♪ピッカピカの1年生♪

この春に大槌小学校に入学した、なな
ちゃん・さくらちゃん! 幼稚園から一緒に、
学校に入っても同じクラスになり仲良し
こよしのお二人さん。「早く先生から、宿題
がでないかなあ」と楽しみにしています。
小さな背中に一回り大きいランドセルを
背負って、毎日楽しく学校に通ってね!